

2021年3月19日

株式会社 ADK クリエイティブ・ワン

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

株式会社オリエ研究所

ADKグループが携わった  
オリエ研究所の「分身ロボットカフェ DAWN」が第24回文化庁メディア芸術祭にて  
エンターテインメント部門ソーシャル・インパクト賞を受賞

株式会社ADKクリエイティブ・ワン(本社:東京都港区、代表取締役社長:森永賢治)と株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野伸一)が社会実装をサポートしている、株式会社オリエ研究所(本社:東京都港区、代表取締役CEO:吉藤健太郎、以下「オリエ研究所」)主催の「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」が、第24回文化庁メディア芸術祭において、エンターテインメント部門 ソーシャル・インパクト賞を受賞いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

## 第24回文化庁メディア芸術祭

## 〈ソーシャル・インパクト賞〉エンターテインメント部門

広告主: オリエ研究所

タイトル: 分身ロボットカフェ DAWN ver.β

エージェンシー: ADKクリエイティブ・ワン(SCHEMA/addict)/ADKマーケティング・ソリューションズ



作品概要及び受賞理由につきましては、文化庁メディア芸術祭公式サイトをご覧ください。

<https://j-mediaarts.jp/award/single/avatar-robot-cafe/>

## <分身ロボットカフェ DAWN とは>

株式会社オリイ研究所が主宰・運営する、ALS などの難病や重度障害で外出困難な人々が、分身ロボット「OriHime」「OriHime-D」を遠隔操作しサービススタッフとして働く実験カフェ。このカフェは「動けないが働きたい」という意欲ある外出困難者たちに雇用を生み出すと同時に、人々の社会参加を妨げている課題をテクノロジーによって克服しました。この分身ロボットカフェの取組みは、2018年に初開催されて以降アップデートを重ね、さらなる社会実装に向けて2021年6月に東京・日本橋エリアに常設実験店をオープンする予定です。

## <オリイ研究所について>

「孤独の解消」をリレーションテックで解決することをミッションとし、遠隔操作でありながら「その場にいる」感覚を共有できる分身ロボット「OriHime」や、難病や身体障害があっても、テレワークにおける身体的社会参加を可能にする分身ロボット「OriHime-D」の開発をおこなっています。また、目の動きだけで意思伝達を行える「OriHime eye+switch」、これまで難病や重度障害で就労を諦めていた方たちが、社会と繋がり、誰かとともに働くための就労支援サービス「アバターギルド」「分身ロボットカフェ」などの取組みを行なっています。

株式会社オリイ研究所 公式 HP

<https://orylab.com/>

※「OriHime」「分身ロボットカフェ」は株式会社オリイ研究所の登録商標です。

以上

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
株式会社 ADK ホールディングス 社長室広報グループ 平尾/丸山  
e-mail: [adkpr@adk.jp](mailto:adkpr@adk.jp)